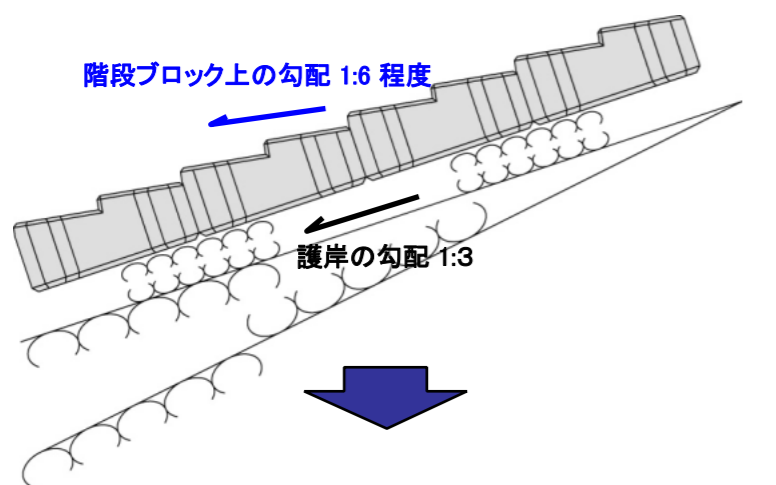


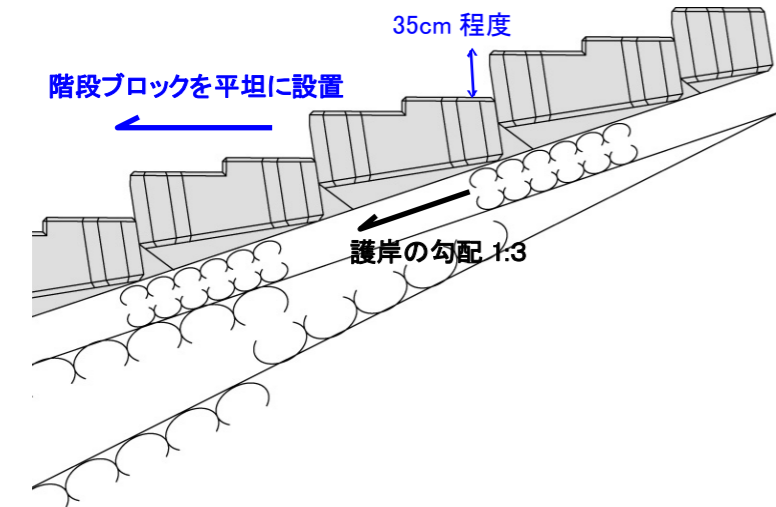
階段詳細図

階段ブロック

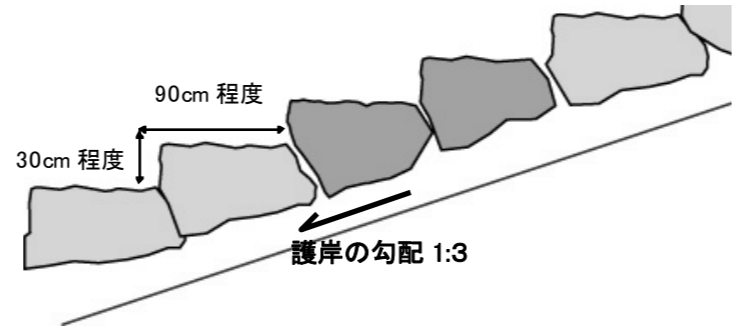
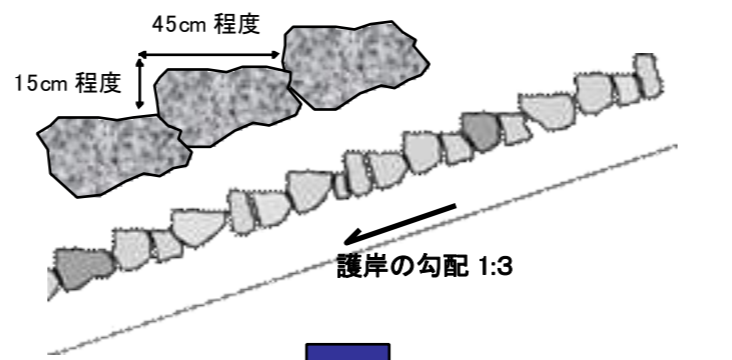
50  
区間



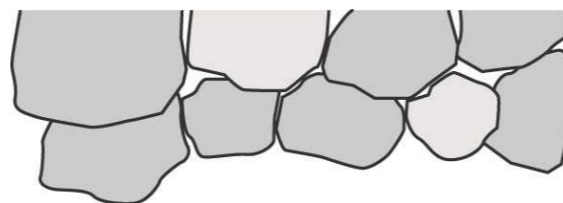
100  
区間



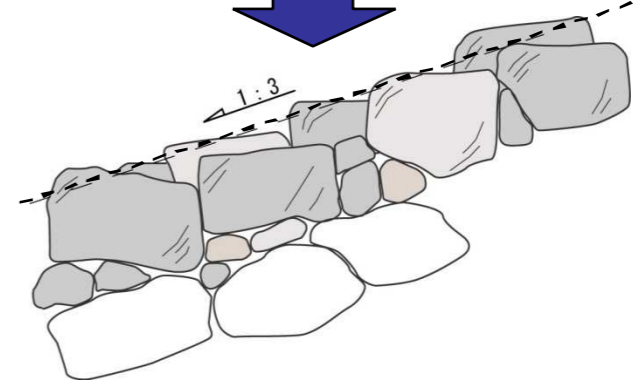
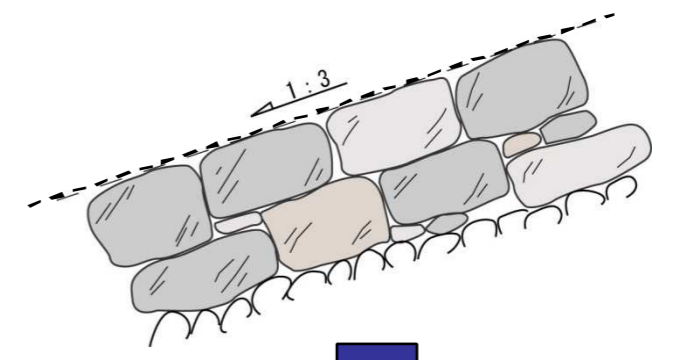
石積み階段



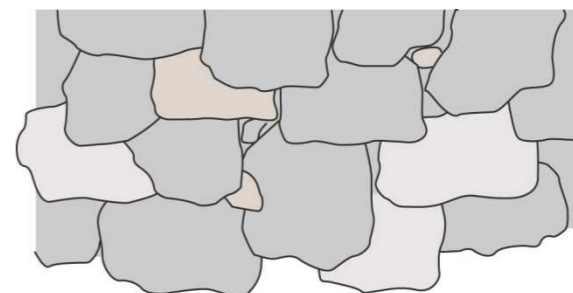
平面イメージ(自然な凹凸の形状)



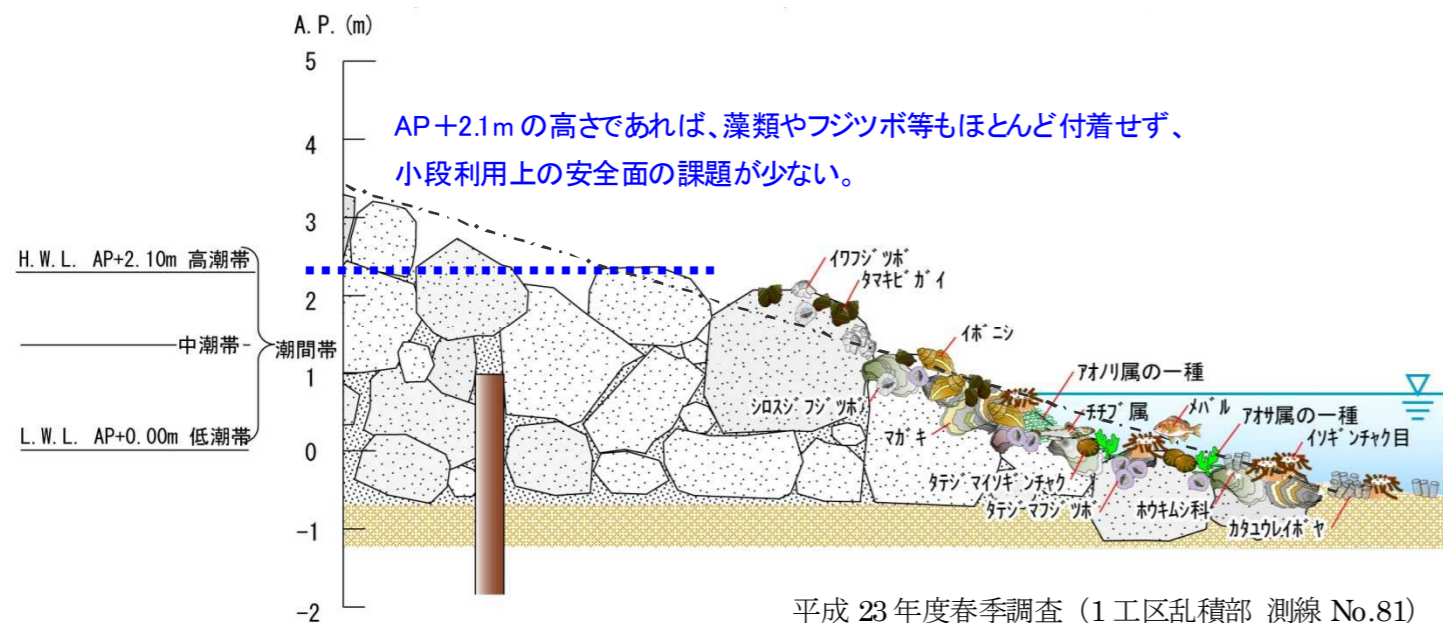
標準断面図(一般部)



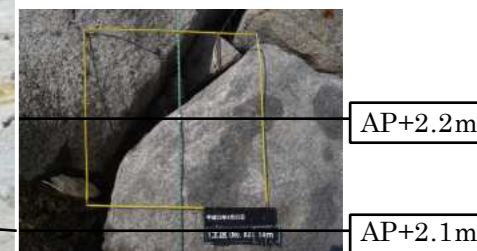
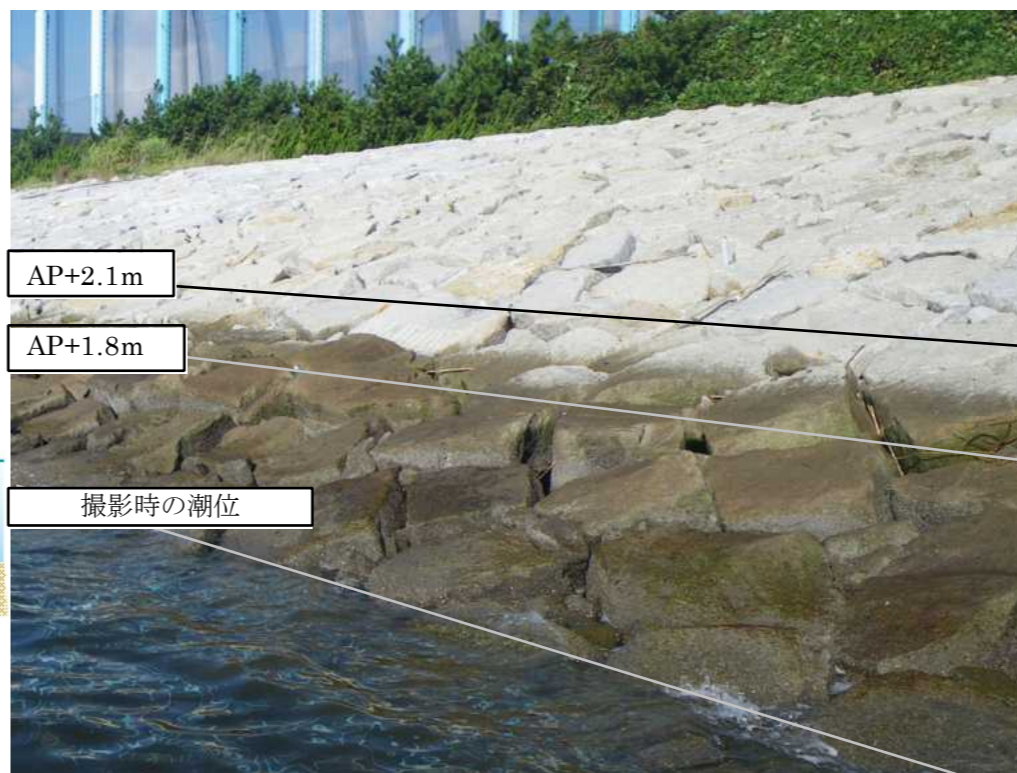
平面イメージ



小段高 AP+2.1m の安全性



平成 23 年度春季調査 (1 工区乱積部 測線 No.81)



石の表面には藻類やフジツボ等ほとんど付着していない

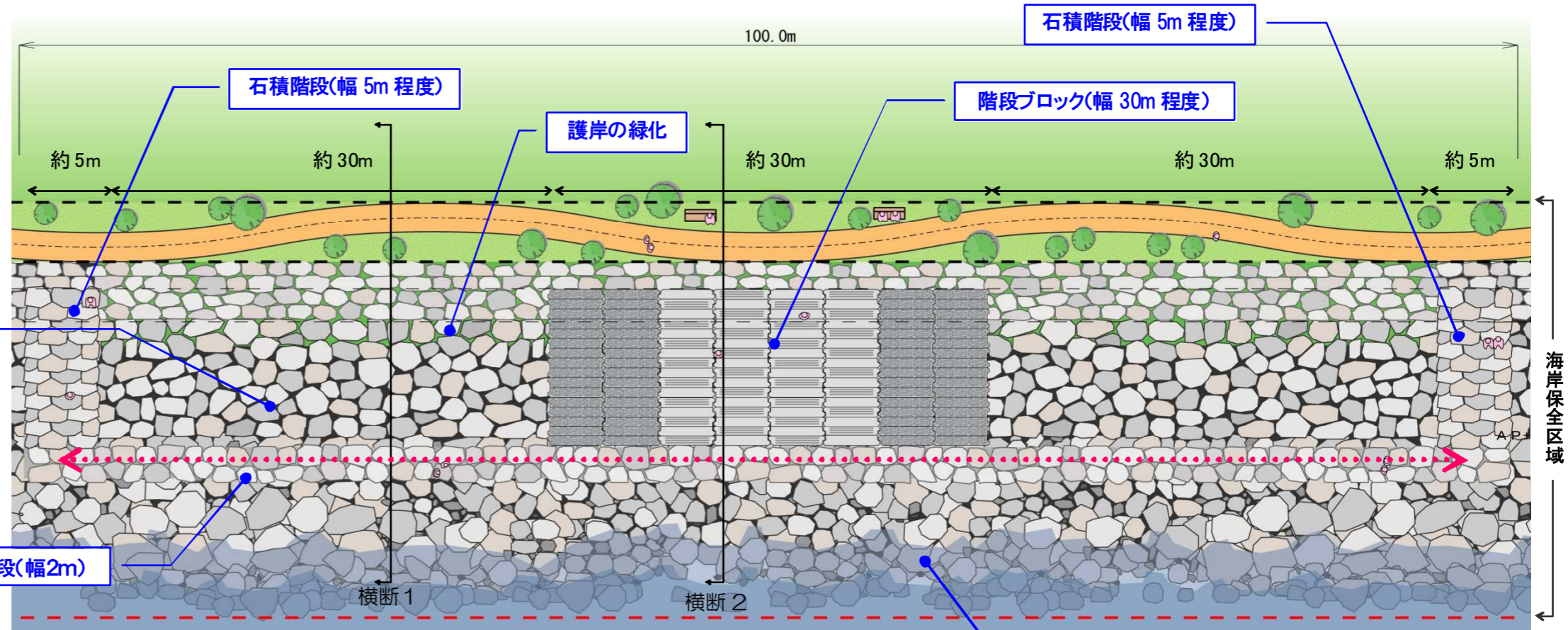
#### 4. 護岸バリエーション整備イメージ (100m区間)

- 整備概要
- ・安全に水際まで降りられる階段を3箇所に整備する。
  - ・区間中央部の階段ブロックの幅員は30m程度確保し、両端2箇所の自然石積階段の幅員は5mとする。
  - ・水際の縦断的な移動(階段間の移動)に配慮して、AP+2.1mの高さに幅員2mの小段を設置する。

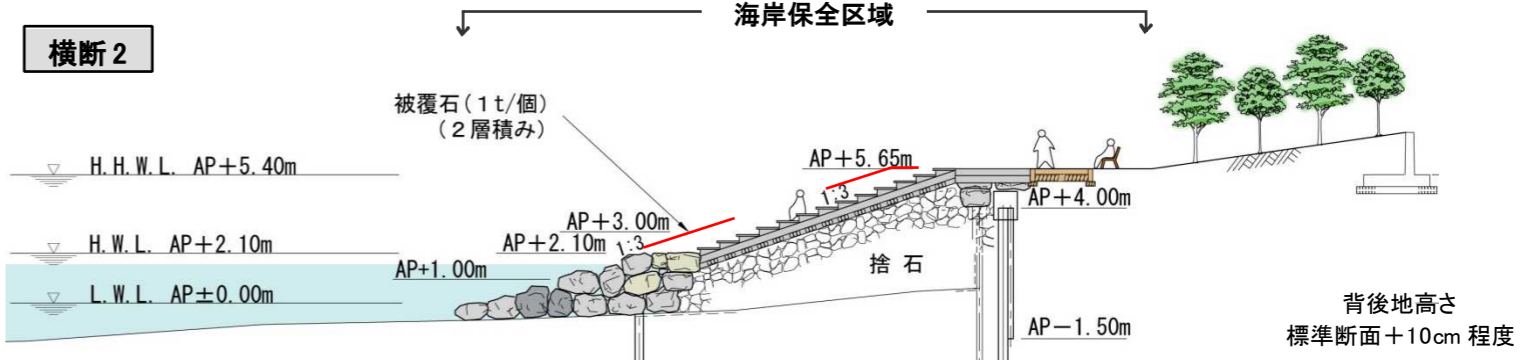
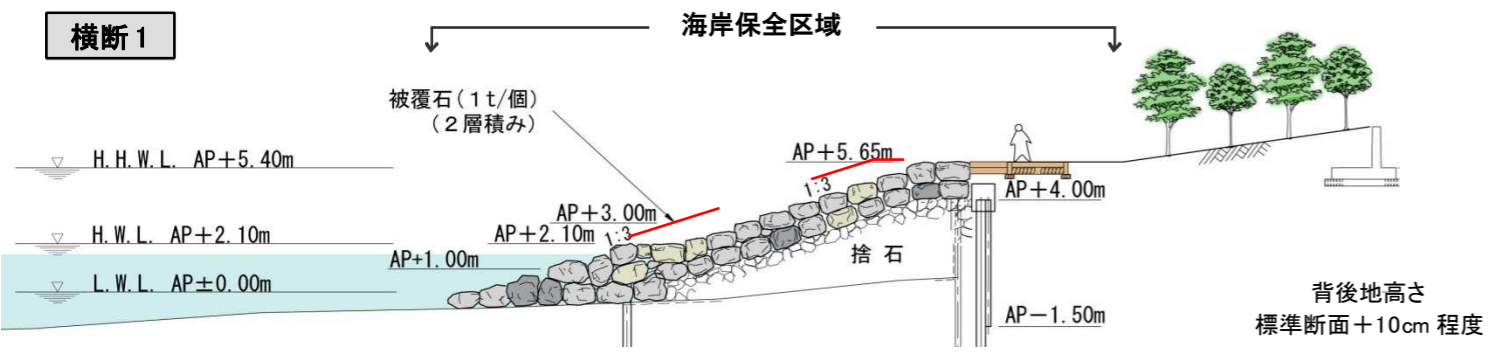
標準部の石は水平に置き、凹凸は許容し平均3割勾配とする。

小段高 AP 2.1m  
小段幅 2m

小段(幅2m)



海岸保全区域



#### 5. 護岸バリエーション整備に向けて

- 整備方針
- ・早急に高潮防護への対応を図るため、**護岸整備は平成25年までに完了**させる。(前回委員会で提示済)
  - ・第1期まちづくり地区前面護岸のバリエーションについては、先の委員現場視察会における意見を踏まえ、第2期まちづくり地区前面のバリエーション(50m)で行った工夫における課題点を改善し、100mに展開する方針とし、年度内発注に向けて調整を進める。

